

「オール上郷」（横浜市栄区代表）が初栄冠。10代目王者に輝く

スポーツを通じて神奈川県内の子どもたちの健全育成を支援する「2015専修大学カップ神奈川県学童軟式野球選手権大会」（神奈川県野球連盟共催）が8月6日から13日まで境川遊水地公園少年球場（横浜市）などで開催され、県内各地の代表60チームが熱戦を繰り広げた。優勝はオール上郷（横浜市栄区代表）が初の栄冠、10回記念大会の王者に輝いた。

決勝は、各地で記録的猛暑となった13日、平塚球場（平塚市）で行われた。オール上郷と山手メイツ（横浜市中区代表）による決勝戦は、オール上郷が3-2で逆転勝ちした。

オール上郷の内藤亮人監督は「最後まで諦めない気持ちを持って試合に臨みました。まさか優勝できるとは思っていなかった。本当に選手たちが頑張ってくれました」と優勝の喜びを語った。同主将の中西貴大選手も「一戦一戦強い気持ちを持って、全力プレーを心掛けた。いつも厳しく指導してくれた監督、コーチのおかげで優勝することができとても嬉しい」と語った。

決勝戦終了後、表彰式・閉会式が行われ、優勝チームには、馬場杉夫経営学部長（大会会長代行）から賞状、優勝旗、優勝カップが、神奈川県少年野球連盟会長の鈴木一誠大会副会長から賞状、優勝盾が贈られた。また、横浜DeNAベイスターズの球団職員の畠山準氏から優勝盾、優勝カップが贈られ栄誉が称えられた。

優秀選手賞にはオール上郷の松澤和真選手（6年生）が、敢闘賞には山手メイツの羽立湧輝選手（6年生）がそれぞれ選ばれ、県野球連盟から表彰された。入賞チームには、監督・コーチを含めた全員に記念のメダルが授与された。

馬場経営学部長は、「選手の皆さんの一つ一つの一生懸命な姿が、私たちを感動の渦に巻き込みました。この大会は神奈川県野球連盟、神奈川新聞社、テレビ神奈川をはじめ、多くの方々の絶大な支援により非常に充実した大会となりました。また、監督・コーチはじめ、選手のご父母・保護者の方々のご支援が充実した大会に導き、心から敬意を表します。選手の皆さんの熱意が雲を吹き飛ばし見事な晴天にしました。この大会を通じて得たうれしさ、悔しさ、喜びは今後につながります。これからの未来、日本を背負ってほしいと願っています」とあいさつを述べた。

優勝チームは、8月21日にtvkの昼のワイド番組「ありがとッ!」に出演、喜びを語る。なお、大会の様子は、同30日19時00分よりtvkで2時間50分の特別番組として放送される。



▲熱戦が繰り広げられた平塚球場



▲10代目王者に輝いたオール上郷



▲優勝を喜ぶ選手たち





▲監督の胴上げ



▲馬場大会会長代行より優勝旗が贈られる



▲横浜DeNAベイスターズより優勝カップが贈られる



▲記念のメダルを授与



▲馬場大会会長代行のあいさつ



▲優勝のオール上郷



▲準優勝の山手メイツ